



## ”内定者フォロー”レポートNo124

株式会社サーフボード

執筆 田嶋 節和

TEL 0776-52-2134 FAX 0776-52-2135

URL <https://www.surfboard.jp/>

### 面接官が陥りがちな採用面接の落とし穴

新卒採用の面接で「学生時代、一番頑張ったことはなんですか?」「学生時代、一番成功したことはなんですか?」という定番の質問があります。これらは成功体験を聞いている質問です。面接官は就活生の成功体験を聞くことで、就活生の行動力や性格をチェックしていますが、間違った評価をしやすい質問でもあります。新人の面接官が陥りがちな面接の落とし穴についてまとめました。

#### 学生時代の成功体験

「学生時代、一番頑張ったことはなんですか?」この質問は新卒採用の選考面接において定番の質問です。問われないことはありませんので、就活生は事前によく準備しています。よく準備しているのはいいのですが、面接官にとっては学生の本質を見抜きづらくなってきています。

よくある回答例として「語学留学の経験」「自転車で日本一周旅行しました」「ヨーロッパ数か国をバックパッカーとして放浪しました」といったものです。これらの回答はインパクトがあり、思わず評価してしまいがちです。

ここで心を動かされる面接官は要注意です。確かに「日本一周」「ヨーロッパ放浪」はすごいことです。しかし、この時点で就活生を評価するのはミスマッチを起こす原因になりかねません。インパクトのある成功体験に騙されてはダメです。

### 大切なのは再現性のある成功方程式

では、面接官は成功体験の質問で何を見るべきなのでしょう。それは、その成功体験に再現性のある成功方程式があるかどうかを見る必要があります。

「再現性」という言葉は非常に重要ですので、少し具体的に説明させていただきます。再現性とは、「いつ、どこで、誰がやっても、同じ手順で行えば同じ結果が得られる」というものです。化学は再現性をもっとも問われる学問の分野の一つです。

例えば二酸化マンガンを過酸化水素水に入れると酸素が発生しますよね。これは幼稚園児がやっても、誰がやっても、絶対に結果は変わりません。いつ、どこで、誰がやるかによって、結果が変化するようにならば、それは科学とは言えません。

もう一度確認します。再現性とは、「いつ、どこで、誰がやっても、同じ手順で行えば同じ結果が得られる」というものです。そして、面接における成功体験にも「再現性のある成功方程式」が求められるということです。

つまり面接官は、就活生が語る成功方程式を使って、他の事例でも成功させることができるのか、という視点を持つべきなのです。ですから、インパクトはあまり関係ありません。なぜなら、「自転車で日本一周」という成功体験だけでは「再現性のある成功方程式」が含まれていないからです。

このエピソードを話す学生は入社後、同じように成功体験を積むことは難しい人材かもしれません。

### 再現性さえあれば失敗体験でも構わない

どれだけ結果にインパクトがあったとしても、勢いだけでやってしまった成功体験には「再現性のある成功方程式」がないため、あまり意味がありません。逆にインパクトがなくても、「再現性のある成功方程式」があれば、それはそれですごく評価すべきことです。

極論ですが、再現性さえあれば失敗体験でも構わないと思います。つまり、面接官は「何をやったか」よりも、「どうやったのか」を重視する必要があります。今回の「自転車で日本一周旅行しました」を例にとれば、面接官は「日本一周」という結果よりも、「どうやって日本一周したのか」を重視すべき内容になります。

ここに二人の学生がいたとします。二人とも学生時代に「自転車で日本一周旅行をした」と言います。Aさんは思いついたらすぐ行動。ノリだけで、日本一周をしてしまいました。一方、Bさんは旅行前に周到な準備をし、毎日のスケジュールを決め、宿泊するホテルをすべて予約し、その土地の美味しい食堂を携帯で写真撮影していたとしましょう。

Aさんの行動に再現性はありません。一方、Bさんの行動には再現性があります。どちらの学生を採用したいですか？Bさんに仕事を任せたら、必ず周到な準備をしてくれるだろうと考えられます。

### 質問例

それでは面接官は具体的にどのような質問をすべきなのでしょう。質問例をまとめました。

#### ・きっかけとゴール設定

「なぜそれをしようと思ったのですか」

「目標はなんだったのですか」

#### ・チャレンジ

「まず何から始めましたか」

#### ・継続

「どんな努力を継続しましたか」

#### ・挫折

「つらく挫折そうになったことはありますか」

「挫折そうになったとき、どう乗り越えましたか」

#### ・協力

「周囲から協力してもらった部分はありますか」

「周囲から協力してもらったためにしたことはなんですか」

#### ・突破

「目標達成のために、差別化をしましたか」

「目標達成のために、強化したポイントはなんですか」

#### ・成功

「成功した瞬間のエピソードはありますか」

「成功した瞬間の気持ちを教えてもらえますか」

#### ・成長

「その経験によって、学んだことはありますか」

「その経験を通じて、成長を感じた部分はありますか」

#### ・その他

「その経験によって、周囲に影響を与えたりしましたか」

「その経験によって、その後の考えや行動に変化した部分はありますか」

## まとめ

「学生時代、一番頑張ったことはなんですか？」という質問で見抜くべきポイントをまとめました。ただし、学生がうまく話せなかったとしても、学生に再現性がないとは限りません。実体験を忘れていた可能性もありますし、緊張して話がまとまらなくなってしまったかもしれません。

面接官をされる方には学生をリラックスさせてあげて、学生の魅力を引き出してあげる努力をしてほしいと思います。それを心がけていれば、いい採用がきっと実現できることでしょう。

**巻末にアプリ体験方法記載しています。**

**◆◆◆◆スマホアプリ「Chaku2NEXT」のデモを  
いますぐ体験できます◆◆◆◆**

1) お使いのスマホに「ちゃくちゃくネクスト」  
アプリダウンロード

・GooglePlay または App Store で  
「chaku2-next」と検索

2) ダウンロードが完了したら、

・企業ID に「jinji」と入力

3) ユーザーログイン画面でメールアドレスとパスワードを入力

デモアカウント: [member@chaku2.jp](mailto:member@chaku2.jp)

パスワード: 1111

を入力します。

お問い合わせ先



株式会社サーフボード

担当者：本庄孝司

[honjo@surfboard.co.jp](mailto:honjo@surfboard.co.jp)

連絡先：0776-52-2134

〒910-0842 福井県福井市開発 2 丁目 614

URL <https://www.surfboard.jp/>